

「令和7年度職員作品展」健友からの出展は全部で64点！

ごあいさつ

今年も、区互助会のご尽力と多くの皆様の応援をいただき、職員作品展と合同で板橋区の退職者会「健友」の作品展を開催することができました。

私たち「健友」の会員は、健康年齢を日々重ねられるよう、健友各事業や、趣味部（釣り・囲碁将棋・園芸・写真・健歩・民謡・麻雀・ゴルフ・テニス部）の活動、あるいは個人毎に様々な活動を行っています。

作品展では、その一端である創作活動について日頃の成果を毎年発表させていただいております。

創作活動を続けられている会員の皆さんのお力作を、是非、ご覧いただきたいと存じます。

そして、退職者コーナーの作品の中から、お気に入りの作品に投票していただければ、会員の更なる活動の励みにもなると思います。

また、ご覧いただいた職員の皆さんには、ゆとりのある創造的な生活を送るための手掛けりのひとつになれば幸いです。

板橋区退職者会「健友」
会長 田中 篤行

令和7年11月25日(火)から27日(木)にかけて、恒例の職員作品展が開催されました。

今年度健友会員からの出展は、絵画2点、写真20点、書道4点、手芸工芸12点、俳句1点、俳壇優秀作23点、及び折紙の会参加者の協同作品「クリスマスとお正月の飾り物」1点、健友園芸部の「寄せ植え」2点の合計64点が会場を彩りました。

出展者の皆さんありがとうございました。

次回は、さらに多くの皆様のご参加をお待ちしております。



職員作品展ギャラリー(出展者紹介)

※写真撮影の際に、撮影者が若干映り込んでいるものがございます。ご了承ください。

【絵画】

「平家の里」

坂本 富江



「五月の朝」



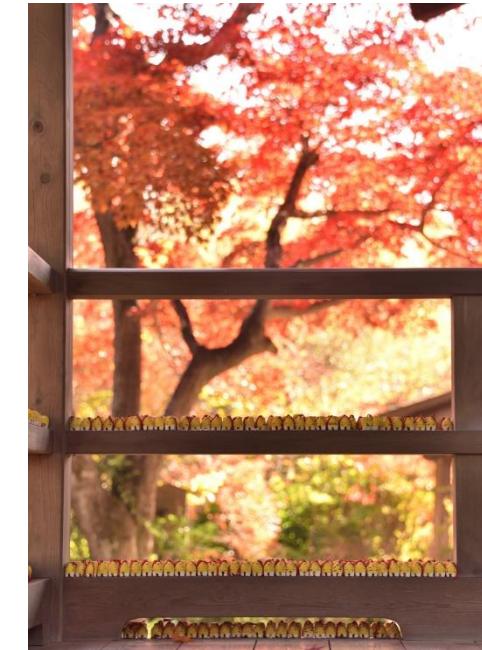
【写真】

檜垣 敬正「桜前線を追いかけて」



(写真)

西谷 昭比古 「毘沙門堂の紅葉」

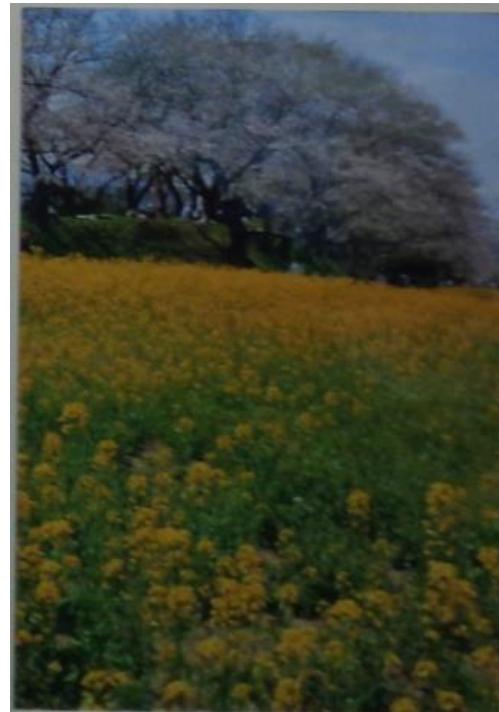


「釣り人」



【写真】

町田 賢治「大和の春」



【写真】

山崎 充「神社の境内」

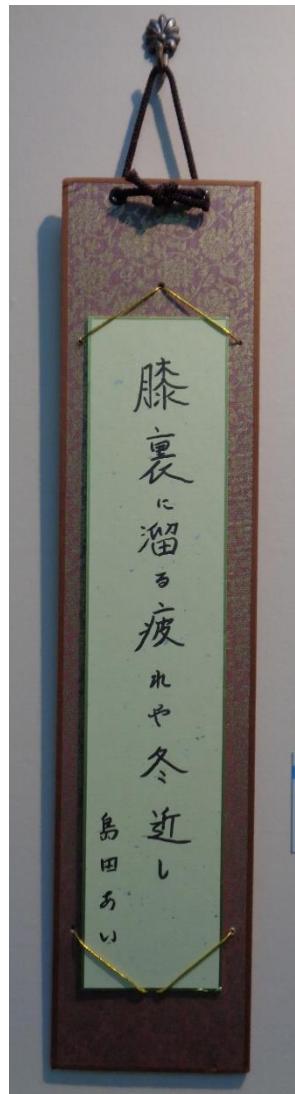


杉浦 美津子「桜舞う」



【俳句】

島田 あい



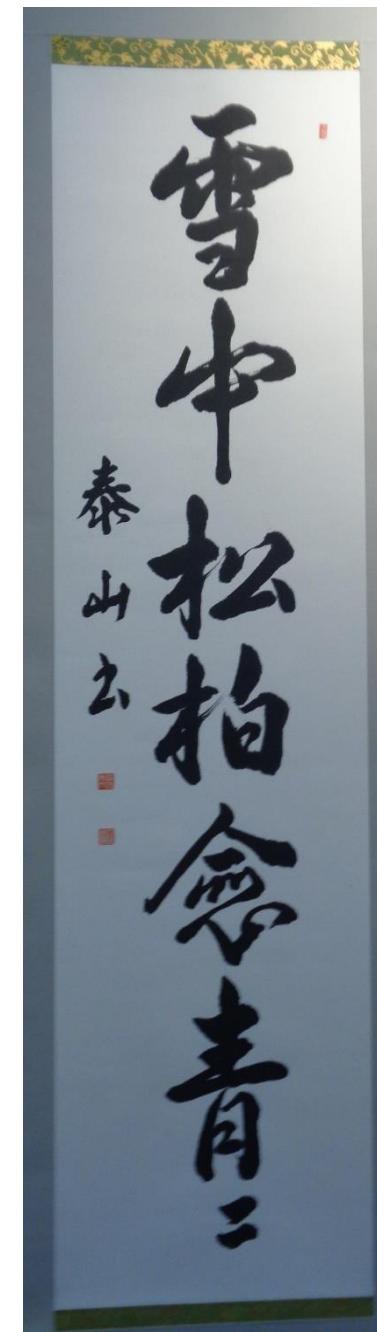
【書道】

森田 泰夫

「和樂長正」

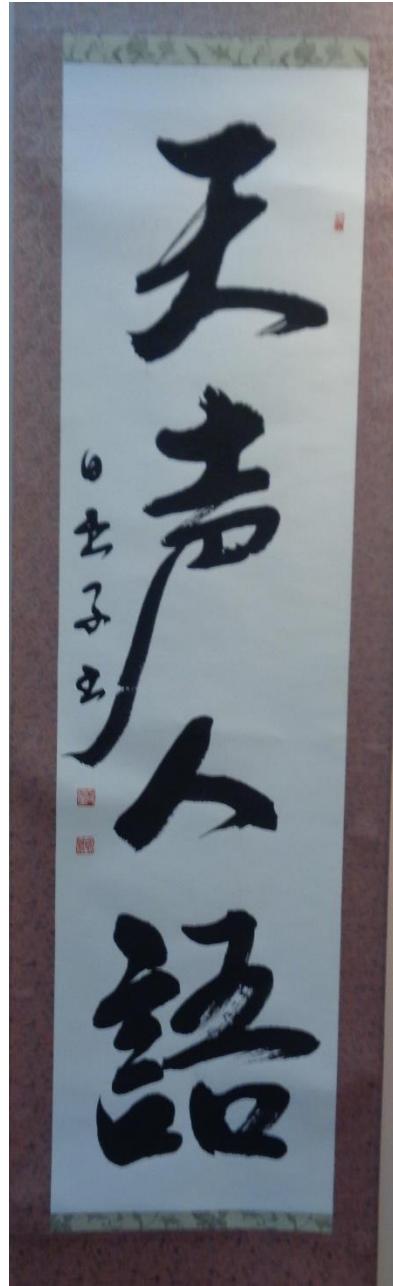


「雪中松柏愈青青」

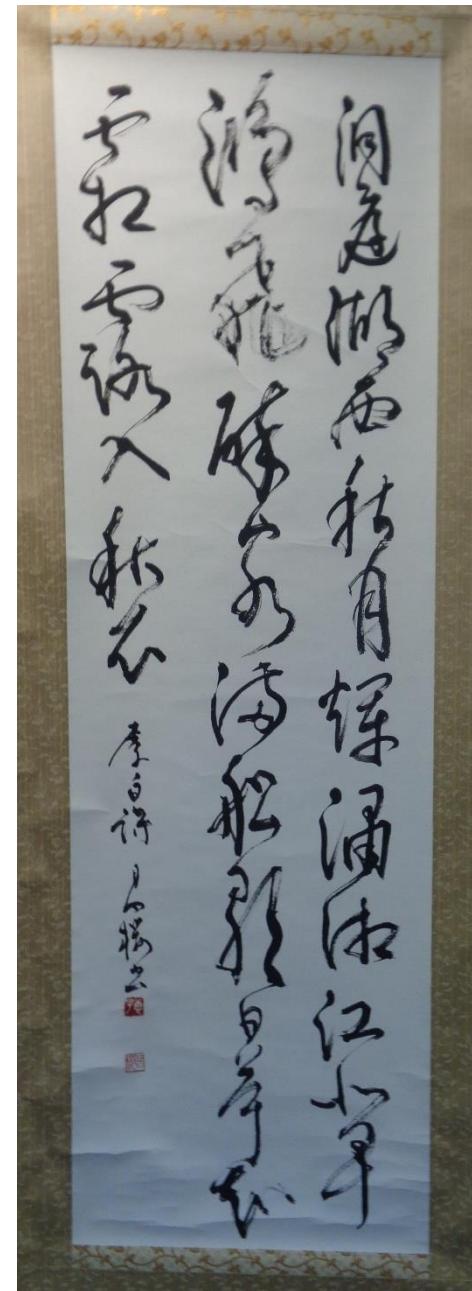


【書道】

日向 日出子「天声人語」



宮崎 恵子「李白詩（唐）」



洞庭湖西秋月輝
瀟湘江北早鴻飛
醉客滿船歌白苧
不知霜露入秋衣

【手芸・工芸】

シャドーボックス「情熱の赤いバラ」



大平 美千代

シャドーボックス
「パンジーの小鉢」



「着物をリフォームした洋服」

中島 貞代

「ワインテーブル」



【手芸・工芸】

「布草履」



丸田 静枝

「ランチョンマット」



「シルクフラワーアレンジメント」

田邊 清美

「オールドローズ」



「春のガーデンアレンジメント」



【手芸・工芸】



花野 綾子

「autumn」

カエデの
タペストリー

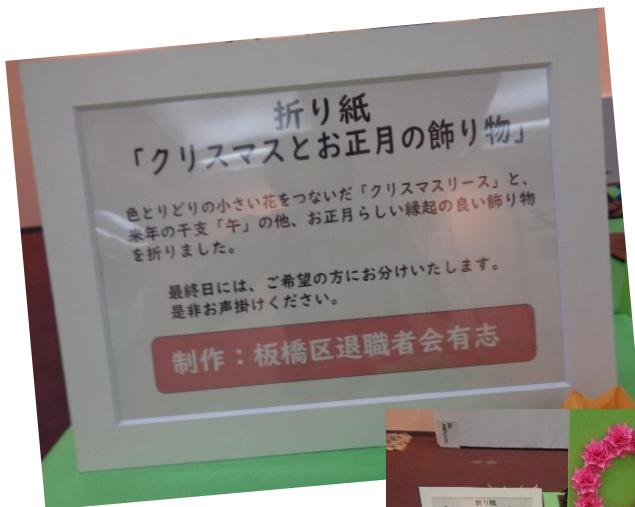


佐藤 恵子

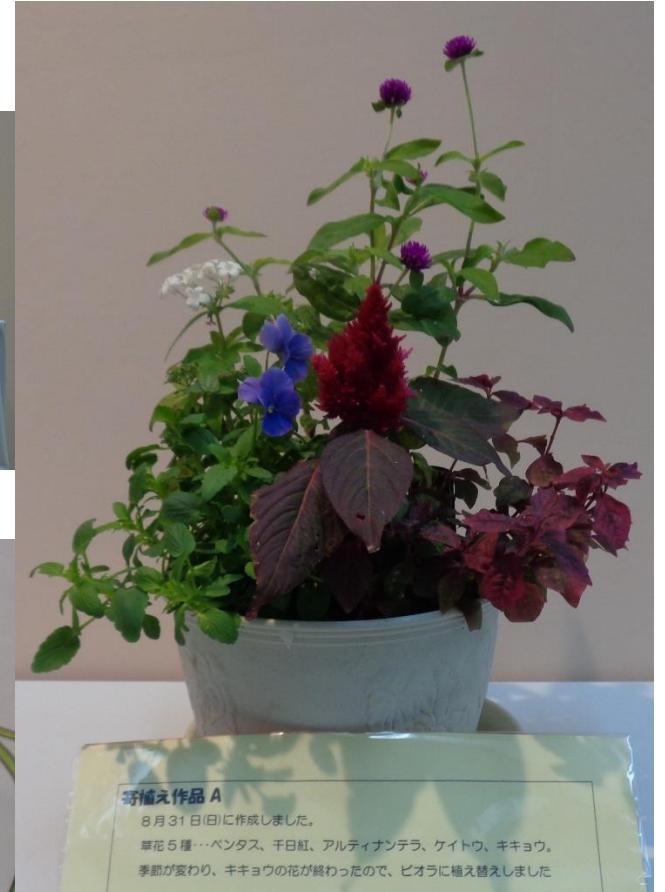
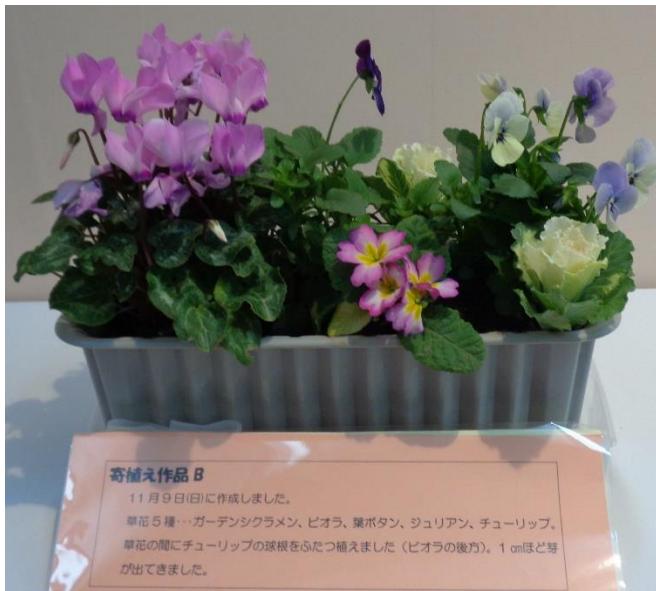
「土偶」カワラダくん

テディーベアー

創作とおしゃべりの会「折り紙」の会 合同制作 「クリスマスとお正月の飾り物」



健友 園芸部 「季節の寄植え」



健友 園芸部

季節の寄植え



園芸部では、年間活動のうち3回ほど、講師の方をお呼びして『寄植え講習会』を行っています。
思い思いに作った寄植え草花を育てる楽しみは格
花のある生活と一緒に楽しんでみませんか。
みなさまの入部をお待ちしています！

【俳句】

健友俳壇 第22回 特選句・入選句

陽光に映える紅葉のグラデーション

瀬川 恵美

臨江園いにしえ人と秋思う

田村 弘治

紅葉にはえる富弘美術館

久田 忠津子

化粧品買つて笑顔に秋の部屋

日野原 志津江

石蕗の花母の入院長くなり

高橋 洋子

秋まつり終えて静かに神輿倉

菊川 雄二

薄紅葉上州道の夕日かな

細井 葵一

石蕗咲いて臨江園を仰ぎ見る

宮川 修一

秋の道平和を祈る地蔵尊

吉田 誠

散歩道ねころ草取り遊び子ら

松本 加代美

初雪が降るか降らぬか本屋まで

武居 正次

みこくら
秋まつり終えて静かに神輿倉

菊川 雄二

菊川 雄二

武居 正次

菊川 雄二

武居 正次

菊川 雄二

【俳句】

健友俳壇 第23回 特選句・入選句

野遊びの園見ら豊洲の運河船い

宮川 修一

鳥帰る鉛の海に雨降らず

寺西 幸雄

岩ど岩すみれ踏ん張る狹間か全

梅澤 輝雄

柏谷郎凜とたたずむ梅の花

廣田 美由紀

病室の老いたる母に春の風

高橋 洋子

五月開農事放送消えた里

武居 正次

タワマンの会間に震む電波塔

田中 龍行

懐かしの友と語らう花の宴

榎本 一郎

彼方へと思いを馳せる春の海

有手 千麻

踏切を待つ前のメール風光る

宮川 修一

山壁が積火に映える顔の皴

森田 泰夫

釣り人の影乍き悠倦春疾風

茂木 良一

俳句は、健友俳壇の第22回及び第23回一般の部・旅の部の

特選句、入選句を展示しております。